

岐阜県の プラスチック

VRテクノで技術研修会を開き次世代金型設計システム紹介
あい路は工賃の低下、設備の老朽化、取引条件の悪化
——「小規模企業経営動向調査」の結果報告——
工業組合のインターネット・ホームページがスタート
デザインの心—23
組合員の工場訪問・(有)中濃関化工
事務局だより

VRテクノジャパンのAV会議室で開いた技術研修会



次世代の金型設計システム

VRテクノジャパンで技術研修会開く

AV会議室を活用し設計も実演

岐阜県プラスチック工業組合は3月11日、県が各務原市に完成したVRテクノジャパンのテクノプラザで『製品・製造技術研修会』を開催した。実施中の人材高度化支援事業の一環として開催したもので、講師陣に日精樹脂工業(株)の土屋康雄システム技術部長らシステム技術の担当者3人を招いて、日精が開発したFP総合システムの紹介とシステムによる製品の金型設計を実演してもらった。

「変革期のもの造り」を 大松委員長が主旨説明

研修会は「製造業が、長期低迷の中で変革期に直面していることから、新しいもの造りの考え方」として提案したものの。したがって大松春雄事業推進委員長も、開会に当たり「組合員企業のすべてに適した技術かどうかは別にし、成形品の品質やコスト、さらに納期に対する要求が一段と厳しくなっていることから、検討すべきシステム」と開催の主旨を説明した。

「もの創りの数値化と標準化を行う」

研修は、土屋康雄システム技術部長が「FP総合システムは、製品を金型設計→金型加工→射出成形まで一つの流れとし、もの創りの数値化と標準化を行った」と前置きし①日精樹脂のモノ造りからモノ創りへの考え方②開発したFP総合システムについて③射出成形金型専用のCAD/CAM/CAE—について説明した。

FPとはフレキシブル・プロダクトの意味で



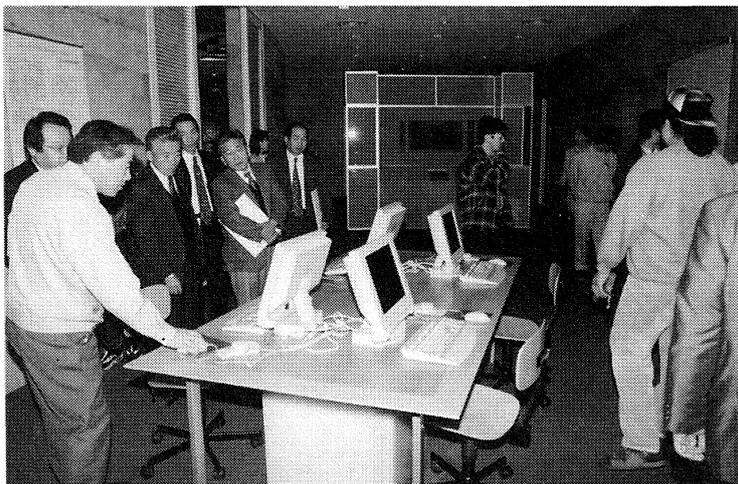
ハイビジョン装置を活用して行われた技術研修会

同社が開発し、市場へ送り込んだトリプルメルト、ワゴンタイプ小型成形機、超高速充填成形機、電気式成形機など、数々の射出成形機群と製品・金型設計や金型加工を結びつけたコンピュータソフトである。

とかく金型製造は「高度で熟練した技術と技能を必要としてきた」が、今日の「ライフサイクルの短い成形商品、短納期化、金型投資額の低減という時代のニーズ」に応えるには「金型生産のノウハウをソフトウェア化し、熟練度の低い人でも使用できる金型設計システム」の開発が期待されていた。

カメラの前面カバーを 3次元画像で設計実演

研修会の席上で紹介されたのはこれまでの2次元版を大幅に改良した3次元版「FR-PACK・3D」システムで、研修会場のAV施設（100インチのハイビジョン装置）を活用して金型設計の実演が行われた。



施設見学する研修会参加者

設計テーマは「カメラの前面カバー」で、設計担当者が3次元画像で映し出される大型画面を見ながら成形金型を創り出していく様子は、参加者に感動を与えた。その設計順序は、ブロックから製品をカットアウトしキャビ・コア・駒に分割→収縮率処理→金型標準部品の登録→加工穴→部品取り付け→というように展開し、最後にNCデータをCAM工程や光造形システムへ送る。また、作業中に部品表や2次元図面を自動作成することもできる。

なお、システムデータをもとに充填解析シミュレーション「3Dクイックフィル」も開発され、事前に設計アドバイスが得られる「次世代の金型設計」を知ることができた。

（問い合わせは日精樹脂工業(株)システム技術部
モールドシステム課・TEL0268-81-1064まで）

VRテクノの施設見学

開発構想や今後の戦略を聞く

工業組合はVRテクノジャパン・テクノプラザで「技術研修会」を開催したのを機会に、参加者の25人による施設見学会を行った。

この施設は各務原市須衛に建設中のVR技術（バーチャル・リアリティー……仮想現実感の略）の開発拠点になるもので、北館の「科学技術振興センター」と、南館の「VRテクノセンター」に分かれ、東側一帯では関連企業への分譲用地の造成も進んでいる。

「テクノプラザ」は振興センターが運営する一般貸出施設で、見学会は「AV会議室」でビデオによる施設説明の後、技術図書館、展示ホール、プラザホールなど施設の説明を受けた。

ポリエチレン

スミカセン

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート

ポリプロピレン

住友ノーブレン

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット

メタクリルシート

スミペックス

メタクリル樹脂

スミペックス-B

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友TPE

合成ゴムSBR

住友SBR

合成ゴムEPR

エスブレン

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト



住友化学工業株式会社

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)
電話 <052> 201-7571

工業組合のホームページがスタート

中央会の情報創造発信事業に参加・14組合員も同時に参加

工業組合は岐阜県中小企業団体中央会が進めている『中小企業情報創造発信強化支援事業』に参加し、インターネット向けのホームページを作成、このほど発信開始した。

組合員名簿や組合の活動を紹介

この事業は中小企業の情報受発信機能を強化し、企業に出会いの機会を拡大していくのがねらい。発信方法は『中央会ホームページ』の中でリンクし、岐阜県のプラスチック業界を広く紹介していくもので、県プラのアドレスは、<http://www.chuokai-gifu.or.jp/kenpura/>です。すでにアクセスが始まっている。

作成したインターネット・ホームページのトップ画面は、写真のように図案文字で『岐阜県プラスチック工業組合』が映し出され、最初は「工業組合の概要紹介」で、組合事業の紹介、業界の現況、続いて全組合員の事業所（企業名住所、設備、成形品の内容）を紹介している。

最後にリンクするのは、支援事業で工業組合と共にホームページを作成した14組合員企業を個別に①事業内容②主要設備③生産品目④アピールポイントなどを紹介した後、問い合わせやメールを受け付ける。

ホームページを持つ14組合員のアドレスは、(有)アサヒ化成=asa@lilac.ocn.ne.jp

<http://www.rd.mmtr.or.jp/asa/>

アテナ工業(株)=athena@chuokai-gifu.or.jp

カイインダストリーズ(株)=

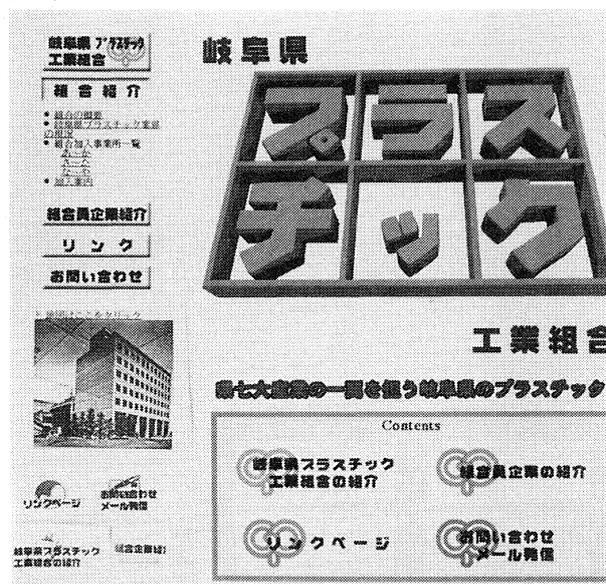
kai@chuokai-gifu.or.jp

<http://www.industry-gifu.jp/kogyo/200com/200kaii/200kaii.htm>

(株)川瀬樹脂工業=sunsthree@he.mirai.or.jp

<http://www.mirai.or.jp/sunsthree/>

岐阜産研工業(株)=XLA06227@nifty.ne.jp



「県プラ・ホームページ」のトップ画面

岐阜プラスチック工業(株)=jinki@risu.co.jp

<http://www.risu.co.jp/>

コマダ樹脂工業(株)=

kodama@chuokai-gifu.or.jp

天龍工業(株)=tenryu@hitaku-gifu.or.jp

<http://www.hitaku-gifu.or.jp/takumi/>

[30com/30tnry/tnry_op/tnry_op.htm](http://www.hitaku-gifu.or.jp/takumi/30com/30tnry/tnry_op/tnry_op.htm)

東海ポリエチ工業所=tokaipol@chuokai

-gifu.or.jp

東北ムネカタ(株)岐阜工場=

info_tnsys@munekata.co.jp

<http://www.munekata.co.jp/>

八幡化成(株)=hachiman@chuokai-gifu.or.jp

パール化成(株)=pearl@chuokai-gifu.or.jp

(株)武藤化成工業所=

mutoh@chuokai-gifu.or.jp

ムトー精工(株)=kanri@muto.co.jp

<http://www.muto.co.jp/>

「小企業経営動向調査」の結果報告

あい路は工賃低下や設備老朽 昨年8～10月の聞き取り調査結果

岐阜県プラスチック工業組合は、昨年8月いらい平成10年度事業の『小企業経営相談事業』を実施し、10月末に調査を終り、その結果をまとめた。主旨は従業員10人以下の小規模企業（平成10年4月現在）の組合員46社を対象に、企業の現状と経営動向を聞き取り調査し、不況が一段と厳しい企業を側面から支援していく事業である。

調査内容は ①業況・16項目 ②業況の水準・7項目 ③設備投資・7項目の状況と計画上の問題点、困難な点 ④今後の指導希望 ⑤直面している経営上の問題点などで、同時に工業組合への要望や提言も聞いた。

調査結果は次のとおりで、全体を集約すると「平成10年の売上加工額は、平成9年同期に比べて70%の企業が減少、同数量では76%の企業が減少とし、56%の企業が操業率の大幅低下を訴えている。また、来期（平成11年）の見通しについても好転の兆しは見えるものの、売上関連は額、単価、数量ともに、なお33%の企業が低下する」と予測している。

工業組合はこれらの調査結果や組合員から出された問題点、要望、提言などをもとに具体的な解決策を見出し、事業化を図っていく方針である。

全企業の3分の2が加工額・数量ともに減少

◇売上の状況

売上は前期、前年同期に比べて加工額、数量とも調査した全企業の3分の2の企業が減少を訴えている。その減少率は最大50%にも及んでいる。

まず、加工額では前期比で56%、前年同期化では70%の企業が減少したとし、数量ではさらに落ち込みが目立ち前期比で63%、前年同期化では実に76%の企業が減少している。加工額より数量の減少企業が多いのは「ロット当たりの成形発注数量が激減したから…」という。単価はこの傾向と全く逆の減少で、概ね3分の2の企業が変わらず、3分の1の企業は減少し「数年来続いた単価の低下要求がいまだに続く」「これ以上のコストプッシュ要求は限界にきている」と訴えている。

◇売上見通し

前年同期に比した来期の売上見通しは、加工額、単価、数量とも半数を超える企業が不変とし、3分の1に当たる33%の企業がまだ減少するとしている。しかし、不変とする企業の中には「見通しは不透明」とする企業がかな

◇売上見通し

りあり、先行きの予断は許されない。

ただし「来期の売上は増加する」と見通す企業は13%と、若干ながら増加傾向にあり、一部に明るさが見られる。

小規模企業はパートタイマーが生産の原動力

◇従業員（パートを含む）

調査対象となった46企業の従業員総数は344人で、1企業平均人数は7.5人。このうちパートタイマーの人数は、半数に近い164人（1企業平均3.6人）にものぼり、小規模企業においてパートタイマーは、今や生産の原動力になっていることは確かなようだ。

従業員の動向調査は、今期の業況の水準でも行ったが、78%の企業が適正としている。不況だからといって「熟練した従業員や手慣れたパートを手放したくない」というのが実情である。

また、下請けの多くは「受注形態の短納期化」や「コスト低減」のカギは「パートタイマーをいかに効率的に活用するか」にあるとし「受注が減ってもパート人員を減らしたくない」と話している。その多くは「受注が減少しても現体制を維持し、次期の受注に備えたい」という意向のようだ。

◇引き合い

引き合いは前年同期に比べ、半数にあたる47%の企業が不変、減少したとする企業は36%、増加企業は17%であった。来期の見通しは58%が不変（不透明）とし、引き続き減少する企業は約4分の1に当たる24%、一方、増加企業は19%あり、今期を底に「来期は好転する」と見る企業の多くは「期待観」を含めて増えている。

◇受注残

前年同期に比べて受注残が増えたとする企業は、わずかながら6%ある。不変は60%、減少が33%で、やはり3分の1の企業は受注減少の波を受けている。来期の見通しも同様の傾向であるが、増加企業が15%と受注残はやや増える傾向にある。この受注残は、下請取引の実態が短納期化しつつあることから減少するとする企業は30%もあり、今後、景気が回復してもそれほど増えそうにない。

◇原材料

原材料の仕入単価、在庫数量は、現況・見通しともに不変とする企業が、圧倒的に多い。これは①樹脂の市況が安定している ②下請企業の大半が材料支給を受けている一影響と見てよい。したがって製品在庫も、3分の2の企業が不変としている。

業況の総合判断指数はマイナス50ポイント

◇金融関連

貸し渋りなどの社会問題もあり、資金繰りなど金融関係4項目の調査を行った。この結果「資金繰り好転」はさすがになく「悪化した」とする企業は前期に比べ30%、前年同期に比べ28%あった。しかし、3分の2の企業は不変と答えている。来期の見通しは、好転が2%（1企業）不変73%、まだ悪化の状態が続くとする企業は21%あった。

受取手形の期間は、3～4カ月で、小額の工賃は現金支給が多い。手形サイトや支給方法は、調査の93%が今期、来期ともに不変としている。資金借り入れ難度は、容易が17%、不変は60%、困難とする企業は22%あった。不変と答えた企業の中には、期中に借り入れ折衝がなかった企業も含まれる。

また、借入金利は、上昇したとする企業は皆無、不変が78%、低下が23%だった。これらの金融関連は政府の金融対策もあって、異常を訴える企業は予想に反して少なかった。

◇採算性

採算性（経常利益）については、好転したとする企業はわずか2%（1企業）にすぎない。前年同期に比べて39%が不変、悪化は半数を越える52%に達した。さらに来期も30%の企業が悪化するとし、不明は50%もあった。これに対し好転する企業は6%にとどまった。多くの小規模経営者は「採算面の見通しも、まだまだ不透明な時期が続く」としている。

◇企業全体の業況

一方、業況の水準で行った採算性の調査では、今期は経費節減など種々の対策をとった結果、76%が「収支トントンでいける」とし、17%が「赤字経営だ」としている。「黒字」とする企業はわずか2%（1企業）であった。

経営全体の業況を見ると、前年に比べ、好転したとする割合から悪化の割合を差し引いた業況の総合判断指数はマイナス47ポイント、また、今期の業況水準調査の指数ではマイナス50ポイントと、かなり悪化の状態にあるといえよう。来期の見通しで、不変・不透明とする企業は73%、悪化を予測する企業が24%、好転は4%（2企業）にすぎなかった。

調査46企業の中で8企業が後継者に恵まれず

◇後継者対策

経営動向の聞き取り調査の中で、「後継者対策など将来経営のあり方」について質問したところ「後継者がなく今後の経営に不安」と、後継者育成に

◇後継者対策

失敗した企業は、調査46企業中に8企業もあった。このうち2企業は後継者難と、不況による受注の大幅減少から経営意欲を喪失し「今年度中に廃業したい」としている。残る6企業は「受注が続くかぎり」「負債が大きくならないうちに…」「従業員がいるかぎり」さらに「成形機が老朽化するまで」とし、先行きの転・廃業を考えている。

◇設備投資

設備投資については、調査の期中に新工場を建設し全面移転した企業、二次加工のため塗装工場を新設した企業が、各1企業あった。新工場を建設し全面移転したケースは、バブル前からの計画を新しく受注関係が生まれたのを機会に、ようやく実現させたもの。設備投資の中で多いのは、やはり成形機（射出およびブロー）の新設・更新で、14企業あった。新規受注先の開拓により新鋭機器の導入を要求されたり、従来機の老朽化にともない、更新したものである。

一方、受注量の確保に不安があるとして、老朽機種を抱えながら踏み切れない企業もかなりあるもよう。

この他の投資事例を見ると、OA機器3企業をはじめ、カラーリング専用コンピュータ、工場内のレイアウト改造、成形機のメンテナンス、大型粉碎機、リサイクル用小型粉碎機、駐車場用地の確保などが1企業ずつあった。

経営上の問題点は①工賃の低下②設備の老朽化

◇経営上の 問題点

組合員企業が、今、直面している経営上の問題点（複数回答）も調査したが、そのベスト5は ①製品（加工）単価の低下・上昇難 ②生産設備の不足、老朽化 ③取引条件の悪化 ④新規親企業の必要性 ⑤人件費の増加の順であった。

「加工単価の低下・上昇難」「取引条件の悪化」「親企業の必要性」は、調査企業のほとんどが下請企業という特色から当然のことと考えられる。しかし「生産設備の不足・老朽化」を問題点とする企業が2位を占めたことは「成形機更新の時期に来ているが、受注動向に対する不安から、踏み切れない」「工業部品など精度の高い成形加工を受注するため」「自動化や高能率の設備を導入し、採算ベースに乗せたい」とする企業が多いからだ。

◇各企業ごとの 不況対策

不況による受注減を解消する決め手は「新しい受注先を確保する」「新しい営業体制を整える」「自社製品を開発する」ことは、どの経営者も考えることであるが、一朝一夕には実現するものではない。かといって合理化や経

◇各企業ごとの 不況対策

費節減は、もう限界にきている。

こうした不況への個別企業の対応策を聞いてみると。

- ・新規に付加価値の高い成形加工を受注したため、縦型成形機を導入した。
- ・新機種導入に当たり事務手続きの簡単で迅速に対応してくれるリース制度を採用した。
- ・温調機や合理化機器を導入し、新規に工業部品を受注開始した。
- ・小型機を廃棄し、高能率の中型機を購入した。
- ・新規受注先が遠隔地のため、新型トラックを購入した。
- ・不採算受注先を断り、企業体質に見合ったものにしほり利益確保を図った
- ・人材派遣会社から、技術力に乏しいが深夜作業をいとわない外国人を採用した。

ーなど、経営の維持に必死の努力と様相がうかがえた。

しかし、積極的な不況克服対策を取った反面でリスクも多い、

- ・新規に受注したものの、遠隔地への納品、納品時間の限定や短納期化、工賃の低下、小ロット化による時間のロスなどがめだつ。
- ・オリジナル商品を開発したものの、需要の停滞から持続しなかった。
- ・新機種を導入したが、受注が途絶えてしまった。
- ・二次加工施設を計画したが、受注確保に不安が生じ、借り入れが困難になった。

ーなど事例は数多く、小規模企業の無力さを嘆く経営者の言葉が多く聞かれた。

経営動向調査で出てきた小規模組合員の声

<経営上の問題点>

不況で日用雑貨品の成形加工が急減したため新機種（自動機付き）導入し、工業部品の成形加工を開始し、不況乗り切り策をとった。しかし、機械代金の支払い、納品先が遠隔地化し、輸送コスト（とくに時間的なロス）が高くなり先行きの経営に不安である。

<新分野を検討>

射出成形機で、単なる成形をするだけの将来は見てきた。このため新分野への進出を検討しており、融資があり次第、二次加工機（約1千万円）を導入し、企業化を進めたい。融資の結果によっては組合の支援を望む。

<小規模企業の現況>

家族労働なので、小回りを効かせて受注をこなしている。しかし、将来的には後継者がいないので、先行きは暗い。

<不況対策>

この苦況を切り抜けるため、縦型インジェクションを新規購入、新分野に取り組んでいる。発注の継続を期待している。

昨年、一昨年と2年続きで受注量の激減、また、受注内容の変化に直面し、成形機のリストラを行った。

<受注先細り後継者難から転・廃業決意>

受注が先細り、低加工賃による利益率の悪化

それに後継者がいないなど、悪要因が重なり、先行きの見通しは暗い。負担が無いこの機会に転・廃業か、事業の縮小を考えている。

<親企業への要望>

親企業といえども苦しい。この時こそ親企業はアイデアを生かし、積極的に新商品を開発、下請け企業へ仕事を回してほしい。

また、手形支払いの部分を無くしてほしい。発注に当たっては発注時期・方法の安定化を。

<工業組合リサイクル・システムの提言>

工業廃棄物（成形機の色替え、樹脂替え時に発生するダング等）の処理は、処理代金を付けて業者に引き取ってもらっているのが実情。したがって成形加工業者は、成形コストの低下要請に加え、処理代金の支出を余儀なくされ、採算はますます悪化している。

解決方法として、組合内の再生処理業者と提携し、発生する廃棄物を再生業者に引き取ってもらい処理する「工業組合独自のリサイクル・システム」を構築してはどうか。

同時に工業組合は「産廃を出さないクリーンな岐阜県のプラスチック業界」と、アピールしてはどうか。

<廃棄物の回収を実施>

美並村のプラスチック成形業者で任意組合を組織しているが、廃棄物について話し合い、年間2～3回の予定で一定場所に廃プラを持ち寄り、回収業者に引き取ってもらっている。金額は目測で500*₀で、7千円を支払った。

<融資制度で組合へ要望>

設備近代化資金など国・県の制度融資は、中小企業にとって魅力ある制度。しかし、実際に借りるとなると内容、条件の厳しさ、それに手続きがはん雑で、小規模経営者にとっては縁遠い制度になっている。その結果、コスト高を承知で手続きの簡単、便利なリースに頼ってしまうのが現実である。国・県へ「手続きの簡素化や早期に融資を決定」してもらえるように、工業組合から実現を要望してほしい。また、組合

で事務代行をすることも考えてほしい。

<組合への要望…新情報を提供してほしい>

雑貨のオリジナル製品を加工販売しているがニーズの変化が激しいので苦しんでいる。この市場競争に勝つにはさらに一段上の新技術、新成形方法、新商品などを導入して付加価値を高めねばやっていけない。組合はそのような情報が提供される事業を実施してほしい。

<人材派遣に関する情報の提供を…>

シーズンに大きな波があるので、一定期間、成形作業をしてくれる作業者の派遣業者はないだろうか。パートでは技術力が乏しく、うまくいかない。熟練技術者を一定期間、派遣してもらえるような人材派遣事業を確立するか、派遣事業者を紹介してほしい。

<委員会活動またはグループ活動の展開を>

長引く不況の打開策として、組合で下請け、元請けあるいは業種別に、委員会かグループを新しく組織し、話し合いの場、つながり合う場を組合員に提供してはどうか。息の合った企業同志が結び合えば、受発注を契機に、新製品開発へと大きく展開していくと思う。

<支部活動で地域組合員に交流の場を…>

工業組合の事業は岐阜周辺が多いので、参加できないのが現実である。このため地域ごとに支部を設け、キメの細かい工業組合事業として地域組合員の懇談・交流の場を作ってもらい、共通の問題点解決を図っていききたい。

<貸し渋りに工業組合は支援してほしい>

設備投資をしたが、受注が先へ延びたため資金繰りに困っている。地元金融期間は期待できないので、国金岐阜支店への融資のあっ旋を要請してほしい。（工業組合事務局で対応済み）

<不用品の交換や斡旋を望む>

工場には使用しなくなった樹脂、中古の成形機や機器、部品があふれている。捨てるには惜しく、何とか有効に活用したい。不要物を交換買い取り、さらに引き取ってもらえるようなルールを工業組合で定め、実施してほしい。

デザインの心-23

ワールドデザインフォーラム構想の推進

岐阜県プラスチックデザイン協会

今回は、現在、岐阜県が産業製品の高度化のために取り組もうとしている「ワールドデザインフォーラム構想」についてご紹介します。

□ワールドデザインフォーラム（WDF）構想とは。

世界のデザイン拠点のブランチや工房の集合体を岐阜県に形成し、これらのノウハウや技術を活用・吸収することにより、企業の商品開発やデザインの力を国際水準にまで高めていこうとするものです。最終的には世界レベルのデザイン拠点として、発展させていく構想です。

□ワールドデザインフォーラムギフ

構想を推進していくための活動母体として、有志の企業やデザイナー、教育機関等により組織し、世界のデザイン拠点と連携を図ることにより、デザインのアウトソーシング、共同開発情報収集・発信などを行います。

平成11年度から本格稼働し、県からの受託事業の他に自主事業として、機関誌の発行、各種交流会の開催、デザイン開発委託の仲介なども行っていく予定です。

□平成11年度の具体的事業（抜粋）

①ドムスアカデミーデザインセミナー

・ワークショップの開催

ドムスアカデミーから教授を招聘し、県内のプロデザイナーを対象に、5日間程度のワークショップを開催します。

・ケースヒストリーの開催

経営者やデザイナーを対象に、イタリア企

業の成功事例を紹介するため、セミナーを開催します。

②ワールドデザインフォーラムフェスタ

・世界のデザイン拠点オープンセミナー

イギリスのロイヤルカレッジオブアーツの教授を招聘し、一般を対象にセミナーを開催します。

・デザイン展示会

県内企業やクリエイター等の製品・作品展示会を開催します。

・デザイン教室

県内のプロデザイナーによる学生を対象としたデザイン教室を開催します。

・デザイン相談会

一般企業等を対象としたデザイン相談会を開催します。

③ワールドデザインコンテスト

ニューヨークのIDNFの協力による国際規模のデザインコンテストを開催します。

岐阜県に関係深いマテリアルを使った生活用品のデザインを募集し、優秀作品を岐阜県産業界で実際に製作します。（2カ年事業として実施する）

平成12年度以降は、さらに事業の多様化・高度化を図り、世界デザイン拠点とのネットワークを確立していく予定です。

（岐阜県商工労働部工業振興課
デザイン振興係）

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□新年度総会は5月21日に行います□

工業組合の平成11年度事業を審議する『第31回通常総会』は5月21日(金)午後2時から開催を予定しております。

会場は新年互礼会と同じホテルグランヴェール岐山(旧岐山会館)で、新年度の事業計画など各種の議案審議をしていただき、とくに任期満了に伴う役員改選も行われます。また、総会を記念して講演会と懇親会も準備しております各組合員こぞってご出席ください。

□不況一服感…決して油断できない□

「景気の下げ止まり感」とか「不況一服感」の声が聞かれ、やっと先行きに明るさが出てきたこの頃ですが、長引いた不況、根が深く決して油断はできません。

成形メーカーは「他の業種に比べて良い方」といわれますが「転廃業する企業が出始め、組合員は減少傾向」にあります。しかし、暗い話ばかりでは前進できません。新世紀をめざして「飛躍する希望の新年度」にしたいものです。

□労働基準法が一部改正されました□

4月1日から「労働基準法」の一部が改正、施行されます。また「男女雇用機会均等法」も改正法が施行されます。資料は組合事務局へ。

岐阜県のプラスチック

1999 146号

平成11年3月30日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号
(岐阜産業会館4階)

電話 (058) 272-7173

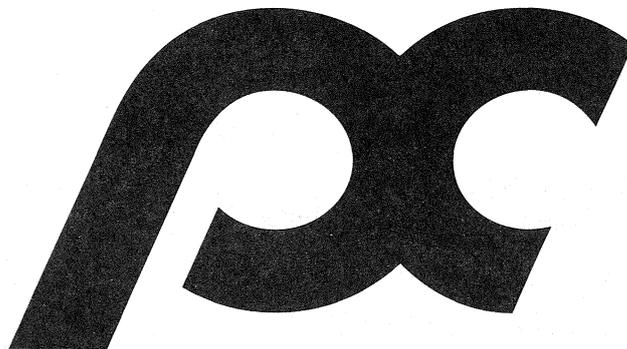
FAX (058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 井森 秀敏

創世ポリケム・パワー

質を創るトータル・ポリオレフィン・カンパニー



三菱化学と東燃化学との創造的な出会いから生まれたポリケムは、平成8年9月、質を創るトータル・ポリオレフィン・カンパニーをめざしスタートしました。ポリオレフィン樹脂のスペシャリストとして、国内では最大、世界でも有数の規模を誇るポリケムは、四日市・川崎・水島の3技術センターのそれぞれの特長を活かし、多種・多様で高品質のポリケム・バリューをお届けしてまいります。

技術と信頼の証 **ノバテック**
NOWATEC

NOVAは「新星」。
ポリケムは、常に先進の技術革新に取り組み、最新・最良の品質のポリオレフィン樹脂「ノバテック(NOWATEC)」をお届けします。

高密度ポリエチレン	ノバテックHD
低密度ポリエチレン	ノバテックLD
直鎖状低密度ポリエチレン	ノバテックLL
直鎖状低密度ポリエチレン	ノバテックCS
エチレン-酢酸ビニル共重合樹脂	ノバテックEVA
ポリプロピレン	ノバテックPP

日本ポリケム株式会社

東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル 1100
TEL 03-3287-8010 FAX 03-3287-8040

時代を創る 時代に答える

私たちNISSEIは、射出成形機の専門メーカーとして、プラスチック成形技術の開発に努めてきました。
成形機を中心に金型・生産システムなど、技術の幅を広げ、国内トップメーカーとして業界をリードしています。
プラスチックの活用はますます裾野を広げる中、プラスチック応用技術を通して、活力ある産業社会、心豊かな生活文化の創造に貢献しています。
「人と暮らしに役立つ、新しいモノづくり」これが私たちの恒久のテーマです。

新たな発想で生まれた高性能・低価格大型機

FVシリーズ (FV9000, 9100, 9200, 9400)



NISSEI

日精樹脂工業株式会社

■名古屋営業所／愛知県小牧市外堀2-167 ☎(0568)75-9555(代)

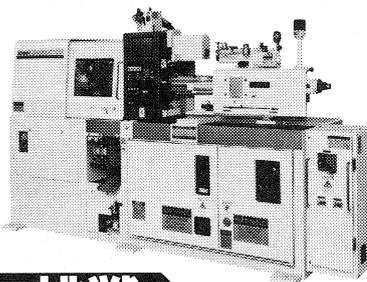
■岡崎出張所／愛知県岡崎市上六名4-1-8三剛ビル1F ☎(0564)52-1430 ■三重出張所／三重県津市神戸横田203-4 ☎(059)224-0716

■本社・工場・研究開発センター／長野県坂城町南条2110 ☎(0268)82-3000(大代表)

■東京事務所 ■テクニカルセンター／本社・相模原・岩槻・名古屋・大阪 ■営業所／全国11カ所／出張所／全国19カ所 ■海外サービスステーション／28カ所
●http://www.nisseijushi.co.jp

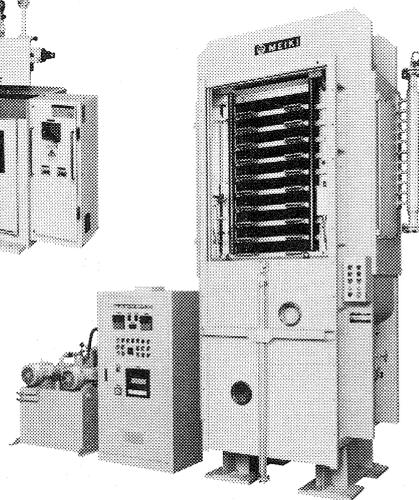
MEIKI

DVD専用機

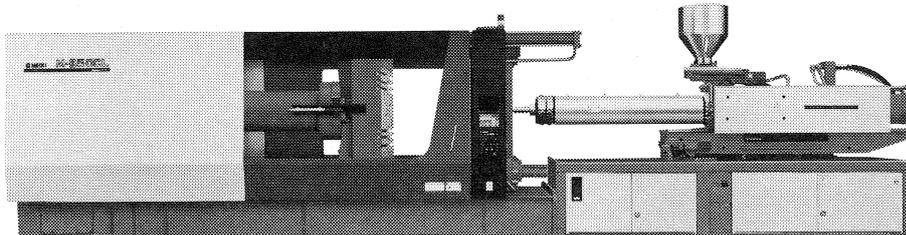


ハイテクノロジーに挑戦

プラスチック、光ディスク(DVD)射出成形機、IC基板成形プレス等、先端技術加工機を生産して、世界の名機として活躍しています。



IC基板成形プレス



プラスチック射出成形機



株式会社

機製作所

本社・工場〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎<0562>48-2111(代)
中部支店〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎<0562>47-2391(代)
岐阜出張所 〒501-61 岐阜県羽島郡岐南町上印食8-104 ☎<058>247-2674

化学の、もっと大きな可能性へ。

私たちがめざすのは、新しい時代の化学会社。

よりグローバルに、よりダイナミックに、もっと大きな可能性を求めて、

三菱化学は世界の期待に応えます。

三菱化学

三菱化学株式会社 東京都千代田区丸の内2-5-2 〒100(三菱ビルディング) Telephone:03-3283-6274(ダイヤルイン)

ShinEtsu 信越PVC

生活用品からエレクトロニクス材料まで——信越PVC

P.V.C.

信越化学工業株式会社 名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅4-27-23(名古屋三井ビル東館)
☎(052)501-0651

くらしのこだわり...

**HOME &
HOME**

-RISU BASIC-

リス
croissant



より洗いやすく、より快適に。

キッチンウエアはいつも清潔にしておきたい。

そんな要望にお応えして、リスは「より洗いやすい」形状と素材を開発しました。

キッチンウエア
3つのPoint

ポイント
1

汚れ防止加工

台所の汚れが付着にくく落ちやすい
特殊加工の素材を使用しています

ポイント
2

洗い易いかたち

余分な凹凸を無くし、洗浄がラクラク

ポイント
3

抗菌 めめり防止加工

半永久効果持続、無機系抗菌剤だから安心

リス株式会社

岐阜プラスチック工業株式会社

岐阜プラスチックグループ

●本社：岐阜市神田町9丁目25番地
TEL：<058>265-2233

●リスパック株式会社 ●リスエンジニアリング株式会社
●リス株式会社
●リス興業株式会社